※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　地理歴史科

教科	社会科	科目	地理総合（抽出）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『高等学校　新地理総合』（帝国書院）						
副教材等	『新編　フォトグラフィア』（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●抽出授業は下記の学習方法、目標に準じるが、日本語指導が必要であることを踏まえ、個人に応じて調整する。また各単元を学習する際には、日本で生活する際の基本的な地理的知識を学ぶ機会を設ける。

地理総合の授業は、世界や社会にみられるさまざまな事象に対して地理的な見方から、「なぜ」という問いをもって考察し、課題への解決やよりよい社会の実現のために、自分の考えを形成するための授業です。中学校社会科の地理分野で学んだことをいかして、調査や諸資料からさまざまな情報を読み取って現代世界の地域的特色を理解しましょう。また、主体的に授業に参加し、自らの意見を表現することも大切です。

２　学習の到達目標

（１）知識・技能：現代世界の地域的特色の理解を深めるとともに、調査や諸資料からさまざまな情報をよみとり活用する力をつける。
（２）思考・判断・表現：学んだ知識や読み取った情報をもとに、環境条件や地域間の結びつきのなかで、「人間がどのように生きているか」という地理的な見方や考え方を培う。また、現代の社会の諸問題や事象に対して、多面的・多角的に考察し、表現できるようになる。
（３）主体的に学習に取り組む態度：現代の社会の諸問題や事象に対して、多面的・多角的に考察することによって、よりよい社会の実現のために課題を解決しようとする姿勢や、社会の形成者としての自覚を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○現代世界の地域的特色の基本的な事柄について理解し、その知識を身につけているか。 ○身につけた知識を、調査や地図などの諸資料と関連付けて、効果的に活用することができているか。 ○身につけた知識をもとに、課題解決のための適切な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができているか。	○現代世界の地域的特色にかかわる事柄から、課題を見出し、環境条件や空間的な広がりなど、多角的・多面的に考察しているか。 ○社会の課題の解決にむけて、さまざまな情報を公正に判断しているか。 ○考察や判断にいたった過程や結果をさまざまな方法で適切に表現しているか。	○現代世界や社会の事象や課題について関心を高め、意欲的に追及しているか。 ○日々の授業のプリントや、知識・思考などの問題に対し、積極的に取り組み、自らの学習状況を把握し、自己評価を行い、改善への学習の調整をおこなっているか。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	1　地球上の位置と時差 2　地図の役割と種類	a: 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図やGISなどを用いて、情報を収集・読み取り・まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b: 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク(白地図やよみとりなどの作業)	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	結びつきを強める現代社会	1　現代世界の国家と領域 2　グローバル化する世界	a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 b: 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク(白地図や読み取りなどの作業)	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク ・調査スライド	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※令和４年度以降入学生用

２学期	生活文化の多様性と国際理解	1 世界の地形と人々の生活 2 世界の気候と人々の生活 3 世界の言語･宗教と人々の生活 4 歴史的背景と人々の生活 5 世界の産業と人々の生活	a: 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b: 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク（白地図や読み取りなどの作業）	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク ・追求課題（地域の特色のレポート）	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	地球的課題と国際協力	1 複雑に絡み合う地球的課題 2 地球環境問題 3 資源･エネルギー問題 4 人口問題 5 食料問題 6 都市･居住問題	a: 世界各地でみられる地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。また、地球的課題の解決には各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b: 世界各地でみられる地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク（白地図や読み取りなどの作業）	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※令和４年度以降入学生用

３学期	持続可能な地域作りと私たち	1　日本の自然環境 2　地震･津波と防災 3　気象災害と防災 4　自然災害への備え	a:自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 b: 地域性を踏まえた防災について、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的･多角的に考察し、表現している。 c: 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	･定期考査 ･小テスト ･ワーク（白地図や読み取りなどの作業）	･定期考査 ･授業プリントの考察ワーク	･学習状況 ･プリントの振り返りや自己評価
	生活圏の調査と地域の展望	1　生活圏の調査と地域の展望	a: 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b: 生活圏の地理的な課題について、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的･多角的に考察、構想し、表現している。 c: 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	･ワーク（白地図や読み取りなどの作業）	･授業プリントの考察ワーク ･調査レポート	･学習状況 ･プリントの振り返りや自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度